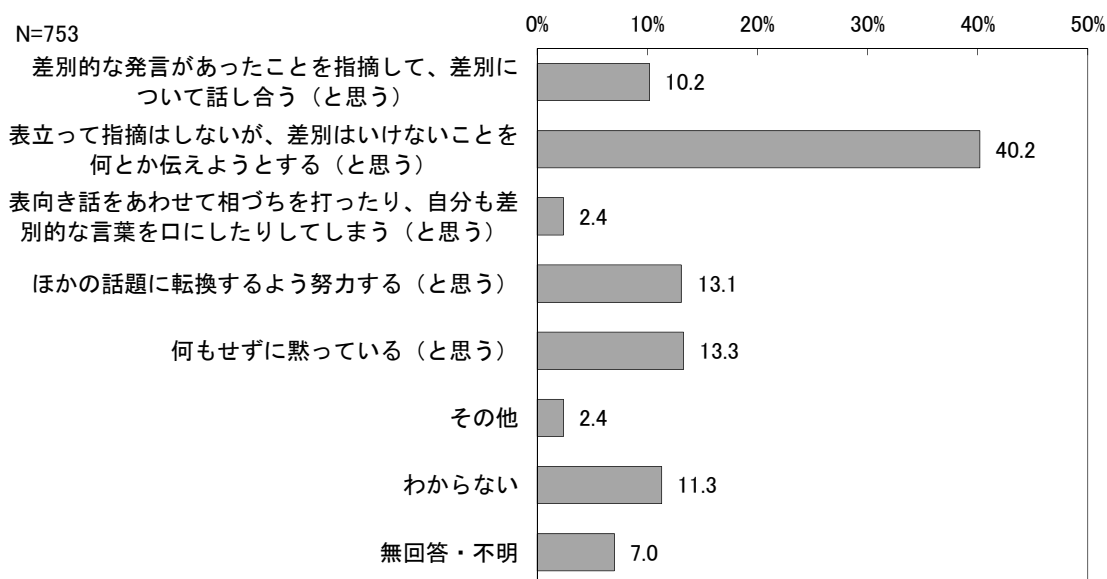


第七章 人権・差別問題に対する態度・行動

1 差別的な発言に対する態度

(1) 質問と回答の状況

問13 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。(1つに○)



「表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする(と思う)」が4割で特に多くなっています。

(2) 性別・年齢別集計

性別でみると、「差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う(と思う)」は男性でやや多く、「ほかの話題に転換するよう努力する(と思う)」は女性の方がやや多くなっています。

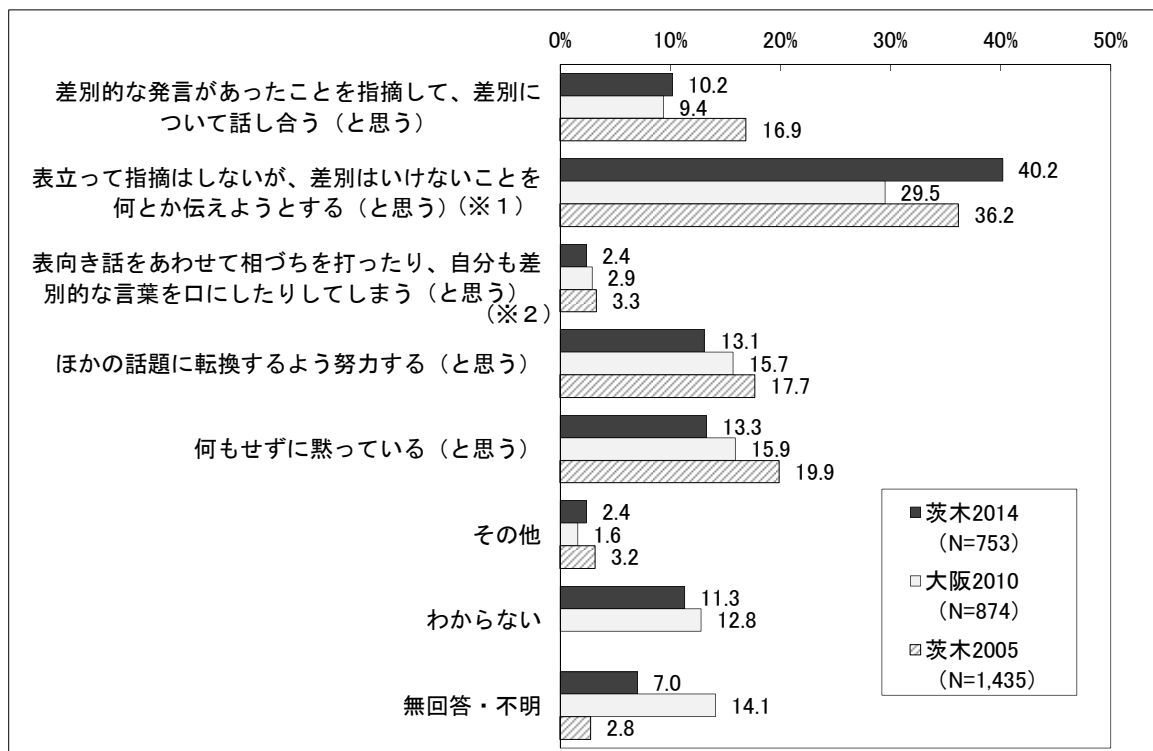
年齢別の一貫した傾向は特にみられませんでした。

問13 学校や職場、日常生活の中で、誰かが差別的な発言をしたとき、あなたはこういった態度をとりますか。

		差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う（と思う）	表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする（と思う）	表向き話をあわせて相づちを打ったり、自分も差別的な言葉を口にしたりしてしまふ（と思う）	ほかの話題に転換するよう努力する（と思う）	何もせずに黙っている（と思う）	その他	わからない	無回答・不明
全体 (N=753)		10.2	40.2	2.4	13.1	13.3	2.4	11.3	7.0
性別	女性 (N=418)	6.9	39.0	2.9	15.8	14.1	2.9	13.9	4.5
	男性 (N=310)	15.5	42.9	1.9	9.7	11.9	1.9	8.1	8.1
年齢	20歳代 (N=48)	2.1	41.7	4.2	20.8	14.6	4.2	12.5	-
	30歳代 (N=107)	10.3	43.9	3.7	18.7	16.8	1.9	2.8	1.9
	40歳代 (N=135)	9.6	40.0	4.4	14.1	15.6	2.2	10.4	3.7
	50歳代 (N=127)	15.0	41.7	1.6	8.7	12.6	3.9	12.6	3.9
	60歳代 (N=153)	9.2	39.9	0.7	15.0	12.4	2.6	13.1	7.2
	70歳以上 (N=172)	11.0	39.0	1.7	9.3	11.0	1.2	15.1	11.6

（3）大阪府調査・前回調査との比較

大阪府調査と比較すると、「表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする（と思う）」が大幅に多くなっています。前回調査と比較すると、「差別的な発言があったことを指摘して、差別について話し合う（と思う）」が減少し、「ほかの話題に転換するよう努力する（と思う）」、「何もせずに黙っている（と思う）」も、やや減少しています。前回調査では「わからない」という選択肢がなかった分、それ以外の回答率が高くなることを考慮すると、「表立って指摘はしないが、差別はいけないことを何とか伝えようとする（と思う）」が増加しているとも考えられます。



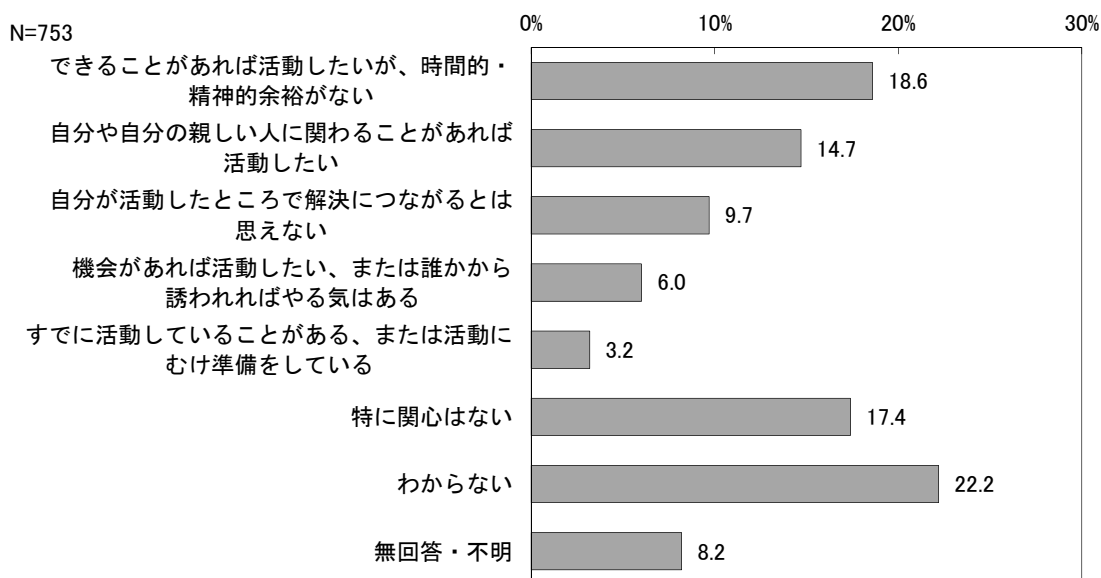
※1：茨木2005では「おもて向きは話を合わせるが差別はいけないことを伝える（と思う）」

※2：茨木2005では「おもて向きは話を合わせ、自分も差別的な言葉を口にしてしまう（と思う）」

2 人権問題の解決に向けた活動意欲

(1) 質問と回答の状況

問17 あなたは、関心のある人権問題の解決に向けて、なにか具体的な活動をしてみたいと考えていますか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をしてください。



活動することに肯定的な意見としては、「できることがあれば活動したいが、時間的・精神的余裕がない」が最も多く、次いで「自分や自分の親しい人に関わることがあれば活動したい」が多くなっています。「自分が活動したところで解決につながると思えない」、「特に関心はない」という消極的な回答と「わからない」を合計すると、約5割となります。

(2) 性別・年齢別集計

性別による差はあまりみられませんでした。

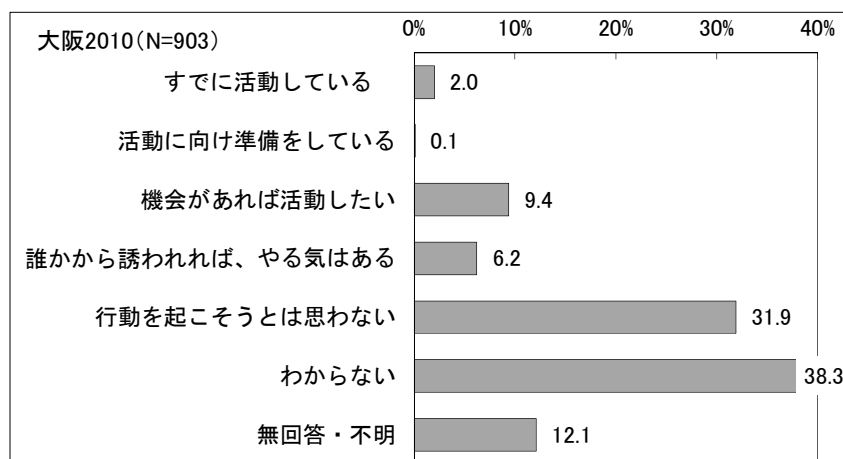
年齢別で見ると、50歳代以上では「わからない」が多く、70歳以上では「特に関心はない」もやや多くなっています。

問17 あなたは、関心のある人権問題の解決に向けて、なにか具体的な活動をしてみたいと考えていますか。あなたの考えに最も近いもの1つに○をしてください。

		すでに活動していることがある、または活動にむけ準備をしている	機会があれば活動したい、または誰かから誘われればやる気はある	自分や自分の親しい人に関わることがあれば活動したい	自分や自分の親しい人に関わることがあれば活動したい	できることがあれば活動したいが、時間的・精神的余裕がない	自分が活動したところで解決につながるとは思えない	特に関心はない	わからない	無回答・不明
全体 (N=753)		3.2	6.0	14.7	18.6	9.7	17.4	22.2	8.2	
性別	女性 (N=418)	2.9	6.9	12.2	18.7	10.0	18.2	24.4	6.7	
	男性 (N=310)	3.9	5.2	18.1	19.7	9.0	17.4	19.0	7.7	
年齢	20歳代 (N=48)	6.3	8.3	18.8	22.9	18.8	10.4	10.4	4.2	
	30歳代 (N=107)	4.7	8.4	22.4	21.5	14.0	15.9	11.2	1.9	
	40歳代 (N=135)	1.5	6.7	17.8	22.2	12.6	17.8	17.0	4.4	
	50歳代 (N=127)	2.4	4.7	16.5	26.0	4.7	16.5	25.2	3.9	
	60歳代 (N=153)	2.6	7.2	15.0	15.7	10.5	15.7	27.5	5.9	
	70歳以上 (N=172)	4.1	3.5	5.8	11.0	5.8	23.3	30.2	16.3	

(3) 大阪府調査との比較

大阪府調査については、選択肢の構成が異なるため単純に比較できませんが、「すでに活動している」と「活動にむけ準備している」の合計は2.1%で、本調査の「すでに活動していることがある、または活動に向け準備をしている」の方がやや多くなっています。同様に、「機会があれば活動したい、または誰かから誘われればやる気はある」については、大阪府の15.6%に対して本調査では6.0%と少なくなっていますが、「自分や自分の親しい人に関わることがあれば活動したい」の14.7%を加算すると、大阪府よりも積極的な回答が多いとみることもできます。



3 現在関心を持っている人権問題

問24 あなたが現在、もっとも関心を持っている人権問題はどのようなことですか。ご意見があればご自由にお書きください。

自由回答	件数
ある事件の加害者はプライバシー保護といわれるが、被害者はそうでもないように思われる事。被害者にもプライバシーはある。	1
職場でのパワーハラスメントについて、依然として労働者側が不利な環境である事。	1
性的マイノリティ。身近にいないのでわからない。少数派なので、データが少ない為、わからない。	1
このアンケート上にある「人権問題」に関しては、正直なところ私自身あまり関心があるほうではないと思います。しかし、人=個人の「意識・無意識」については、ふと考えさせられる時もございます。そして市政としては、これらの諸問題は看過できないものでしょう。でもなんでもかんでも規制や条例でケリをつけられるのであれば、言葉はとても悪いですが、それは市政の怠慢であり、この国の理念に反するのではないかと私は考えます。もちろんアンケートの諸問題はデリケートで難しいものであり、ひとつ、ひとつ解決していってほしい諸問題であると認識しております。	1
高齢者問題	1
同和問題	1
障がい者対策	1
身体障害者に対する雇用条件	1